

とうにうん

第33号 08年3月13日

JR東海労東二運分会

責任者 庭山義輝

編集 教宣部

ベースアップ 900円 = 春闘 第4回団体交渉で会社回答 =

組合員のみなさん！

本日、団体交渉で社員の努力に「精一杯報いる」と、賃金引き上げ回答がされ、本部は持ち帰り検討としました。

わたしたち東海労は、賃金引き上げ 3,000円、夏季手当 3.2箇月、割増賃金率 150/100へ改善の他に定期昇給額の改善、専任社員の労働条件・福利厚生改善、補償措置額の支払い改善を求めましたが、会社回答の概要は以下のとおりです。

会社は、1回目の交渉から「今後の景気動向は極めて不

基本給の改善	900円 (35オポイント)
夏季手当	3.0箇月分
割増賃金・D単価	150/100

透明な状況になりつつある。(略)輸送量が前年を上回るなど堅調に推移しており、これは社員一人一人の奮闘によるところが大であると考えているが、景気の先行きが不透明な中、今後については楽観視することはできない」と、賃金ベース引き上げに消極的な考えを示していました。

他方、東海労の夏季手当 3.2箇月要求に対して「ほしただけ要求すればいい」とか「業績が下がったら要求も下げるのか」と、全く交渉を軽視した発言をしていました。現在の業績は、愛知万博の時よりも良くなっているにもかかわらず「業績のみに着目していない。世間の目もある。やっかみもある」と、口では「社員の奮闘」を評価しながら、しかし金は出さない、と言うのが会社の姿勢です。

組合員のみなさん！

交渉ではこうも言っています。「会社の将来的負担を伴う基準内賃金のベースの引き上げについては極めて慎重であらねばならないと考えている」と。これは、会社がリニアを自己負担で建設することを明らかにしていることと無関係ではありません。

「先行き不透明」「将来的負担」を理由にした賃金抑制を許さず、職場から満額・再回答を会社に求めよう！